



常総インターチェンジ周辺の  
開発整備事業について問う

新しいスタイルのまちづくりを  
目指す

画業務策定の中で、現在調査中  
である。指定管理予定者を今年  
度中に選定し、来年4月から出  
荷体制の構築準備を進めていき  
たい。

議員

国道294号線も取手市を除  
き全てが2車線になり、谷和原  
ICから常総ICまでは、直線で13  
kmという立地条件のよいこの場  
所に、何も仕掛けをしない常総  
市では、何の発展もないと考え  
ている人も多いと感じている。  
地権者組織、市担当課、市議会  
有志、戸田建設株の合同で何箇  
所も近隣自治体の道の駅に視察  
に行き、成功例、失敗例を見て  
きた。課題の多い道の駅のコン  
セプトと商品について尋ねる。

副市長

道の駅を農業を生かしたまち  
づくりの拠点施設と位置づけ、  
地域のお店の方々、観光拠点等  
と連携し、市内の地域資源が相  
互につながるネットワークを形  
成することで、地域創生に向け  
た市のまちづくりの起爆剤とし  
たい。商品については、地元生  
産物を中心とした取り扱いを目  
指し、また、安定的かつ持続的  
な運営を行うため、管理運営計



小学生にもヘルメットを!!

前向きに導入を検討する

小学生に対するヘルメットの  
着用実施をする考えはあるか。

議員

教育部長

警視庁から自転車乗車中の事  
故においてヘルメットをしてい  
ない場合の致死率は、着用時の  
2.5倍という調査結果が発表され  
た。徒歩の事故においてもヘル  
メットで児童の頭部を保護する  
ことは、自転車乗車時と大きな  
違いはないと予想している。ま  
た、学校生活において万が一の  
災害が発生したときにも有効に  
活用できるという付加的メリッ  
トがあり、予想される効果を鑑  
みると、児童のさらなる安全を  
確保するという視点では何ら導  
入を妨げるものではないと考え  
る。

議員

命を守るためには、ただ検討  
するのではなく、一日も早い実  
現に向けた検討を重ねていただ  
きたい。また、市長が掲げる防  
災先進都市を目指す上で、登下

校時のヘルメット着用は当然だ  
が、災害が発生し避難する場合、  
防災頭巾や保護帽などからヘル  
メットに変えることで、更に安  
全性、保護能力が高まると考え  
られる。検討を進める中で支障  
になるような課題はあるのか。

教育部長

通気性や重量といった幾つか  
の課題にも配慮する必要がある。  
導入に当たっては、次年度的全  
児童に一斉配布すべきと考える  
が、財政的な課題もあり、保護  
者・児童の意見を十分に配慮し  
ながら前向きに導入の検討をし  
ていきたい。

議員

当市に訪れるサイクリストに  
対するPRとして中学生のヘル  
メットのデザインを見直す考え  
はあるか。

教育部長

デザイン、重量、通気性、価  
格等の点からどのような製品が  
よいのか、財政面も考慮し工夫  
しながら検討を進めている。